

“負”動産から“富”動産へ!!ステップアッププロジェクト(長野県司法書士会)

課題と目的	近い将来、3軒に1軒が空き家という予想を見据え、まだ空き家問題が深刻でない振興住宅地をモデル地区に選定。空き家予備軍を“負”動産ではなく“富”動産にするための思考を育てる。住民自治協議会とともに、住民の空き家問題に対する意識を高め、相続登記の促進等事前対策を促すことで、空き家化予防(中古住宅等)の流通につなげ、ふるさとの維持・活性化を目指す。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・当会と県並びに市及び住民自治協議会との連携強化。 ・空き家問題の啓発パンフレットの作成並びに地域住民・地区役員会等における周知活動の実施。 ・空き家対策連続講座「住民学校」の開催及び相談会の同時開催。 ・「空き家問題から考える未来の地域づくり」をテーマにしたシンポジウムの開催。
成果	①県・市・住民自治協議会と司法書士会の相互理解と連携体制の構築 ②空き家対策連続講座「住民学校」の開催 ③啓発パンフレット1~10までの作成及び配付 ④「住民学校」と並行した相談会の実施 ⑤啓発シンポジウムの開催

・連続講座「住民学校」の開催

第1回 令和1年11月17日(11人) 第4回 令和1年12月22日(18人)
 第2回 令和1年11月24日(13人) 第5回 令和2年 1月26日(29人)
 第3回 令和1年12月 8日(12人) 第6回 令和2年 2月 2日(31人)
 ()内は参加員数

・相談会の実施

計4件の相談
 ・身寄りのない叔母亡きあとの問題
 ・亡母の兄妹が住んでいる亡母名義の建物 など

・シンポジウム 空き家の問題から考える未来の地域づくり

令和2年2月16日(日)長野市川中島町公民館にて開催
 ・基調講演テーマ「空き家の活用で街を元気に」中川寛子先生
 ・パネルディスカッション テーマ「解決!空き家問題」(95人)

住民学校



広報チラシ・パンフレット制作

